

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和4年2月28日

事業所名: わかば園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		人数・活動内容に応じた環境を設定し、感染症対策については換気や午前午後の療育の前後の消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		随時話し合い療育後は、書面での回覧をし職員の共通理解に努めている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		親の会役員会等に参加し、保護者の意向等を把握するようにしてる。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価結果をホームページに公開している。	自己評価の結果を見直しより良いサービスや支援の提供ができるように改善を図っていきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				
適切な支援の提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各種の研修会案内を検討し、職員が交替で参加している。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもにあった発達検査を依頼し、関係機関の情報も得て支援計画に反映させている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		関係機関や保護者からの情報を得て各項目に沿って記載している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		専門療法士からの指導・助言を支援につなげている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動案や教材案を話し合う等、個々に応じた支援方法をチームで行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節に合った遊びや、個々の発達に合わせて月の療育案を計画している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎回ミーティングを行い、個々の支援内容と役割分担を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後に子どもの姿、支援内容、保護者からの話など報告し共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		療育内容や子どもの様子を個別に記録し、回覧するなど共有している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターの総合発達相談会に参加する等連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併行通園先との連絡会を実施し療育の様子を参観してもらう等工夫している。	コロナ過ではあったが、併行通園先の協力を得て連絡をとれる環境があり、各園で過ごす個々の子どもの様子や支援内容について共有でき関係性を深められた。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		連絡会や移行シートを使い連携を図っている。	小学校との連絡会は、前期は訪問できたが、後期は書面電話での連絡を行った。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターの連絡会や研修に職員が交替で参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	年間計画で年長児の保育所との交流を計画した。	計画の延期が続いた為次年度は、保育園との交流の時期を夏から秋にかけて計画する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		今年度、協議会は案内がなかった。地域の支援者連絡会に年3回参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		母子通園のため、療育後、子どものねらいに沿って活動の様子を伝えている。	通常は、療育後個別で報告している。、コロナ過のため状況によっては、療育リーダーからのグループ報告に変更している。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			就労している保護者も参加しやすいように工夫していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別面談時に、児童発達支援計画の内容の説明を行っている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の振り返りや個別支援計画・訓練記録を通して話す機会を設けている。	就園・就学前、年度が変わるときに面談ができるようにしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		随時相談等を受けられる体制をとっている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月園だよりや行事等の情報を発信している。	就労している保護者の方へ訓練等早めに連絡ができるようにしています。2年度は変更も数回ありましたので速やかに連絡していきたいと思ひます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		法人のプライバシーポリシーに基づき入園の面接時に説明し同意を得ている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		親子通園なので振り返り等直接話をしたり、開り方を一緒に考えたりする。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		必要に応じて検討していきたいと思ひます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		緊急時対応、防犯訓練計画を作成し、感染症対応については、文書にて保護者に説明している。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入園時面接で聞き取りをし、職員で把握している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		入園時面接で聞き取りをし、職員で把握し個々に対応している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記録簿を作成し職員間で回覧、改善注意点について周知している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員が研修に参加し情報を共有するようにしている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			親子通園のため保護者に療育の様子を参観してもらっています。今後は児童発達支援計画に記載していきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)